

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	06	項	01	目	03
事務事業名	大仙市仙北農業指導センター負担金事業								
担当部署	仙北総合支所農林振興課	3705000	電話	0187-63-3003			内線	237	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	01:農林水産業の振興
	施策	02:生産基盤の整備
	施策の内容	04:組織、指導体制の再編強化
根拠法令等	大仙市仙北農業総合指導センター設置運営要領	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	関係農業団体と連携し情報を共有し、農業経営の安定化および生産技術の高度化を推進し地域農業の振興を図る。また、生産から流通にいたる一貫した指導体制を確立する。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	地域農業者(農業法人・集落営農・農業生産組織)
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①複合経営指導相談会 ②農業改善計画認定申請書の審査及び認定 ③病害虫発生観察調査 ④土壌診断事業
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	①認定農業者を増やし地域農業の活性化をはかる。 ②病害虫発生観察の結果を水稻病害虫防除事業に反映させる。 ③農業後継者の育成・発掘

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 農業改善改善計画認定申請書の審査会	回	3	2	3
	② 複合経営指導相談会	回	1	1	0
	③ 土壌診断事業	回	0	1	1
成果 (事業の成果を測る)	① 農業改善改善計画認定者数	人	51	18	27
	② 複合経営指導相談会参加者	人	14	14	0
	③ 土壌診断実施農家数	戸	0	52	33
投入コスト	決算額		100千円	85千円	85千円
		一般財源	100千円	85千円	85千円
	人件費		2,141千円	2,141千円	2,114千円
		一般職員の年間従事人数	0.3人	0.3人	0.3人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト (決算額+人件費)		2,241千円	2,226千円	2,199千円

事業を取り巻く環境	①農業経営の複合化の推進が必要である。 ②認定農業者を含む農業従事者の高齢化が進んでいる。 ③米価の低迷がつづいている。 ④農業後継者の確保が困難となっている。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	B
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	①認定農業者になろうとする者の受付窓口であり審査機関であるため市が実施する必要がある。 ②防除協議会事業と密接な関わりがあるため連携をより強めるか、統合することも可能であると考える。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	①病虫害調査に基づき水稻防除事業への情報提供していることから活動の有効性はある。 ②水稻部門における指導が中心であるが他部門も積極的に指導していくことが必要である。 ③後継者育成について考慮した事業展開が今後必要である。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	①市、農業協同組合・農業共済組合・土地改良組合で組織されており情報共有を図り効率的な活動が実施されている。 ②組織の構成者が同じであり事業内容も密接な関わりがある防除協議会との連携を強めればより効率性があがる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	農業経営改善計画の審査業務を主として今後も事業を継続する。関連団体と連携し、時代に即した研修会等の事業を策定しながら、普及指導を推進していく。また、今後は農業後継者の確保、育成に努める。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	